

新基地建設反対名護共同センターニュース

7日のゲート前県民大行動に750人結集



県民大行動で、手をつなぎながら坂本九の「明日があるさ」の替え歌「辺野古へ行こう」を歌う国会議員など参加者

「オール沖縄会議」は7日、辺野古ゲート前で毎月第1土曜日の「県民大行動」を開催。雨の中、県内各地島ぐるみのバスなどで750人の県民が結集しました。政府が大浦湾の軟弱地盤に関する「技術検討会」を立ち上げたことに、稲嶺進共同代表が主催者あいさつで「県民の声を聞こうとしない建設ありきの検討会だ」と厳しく批判しました。県選出の国会議員、県会議員などが次々と挨拶。赤嶺政賢衆院議員は「政府がどんなごまかしをしても、専門家と力を合わせて国会で厳しく追及する」と決意を表明しました。

沖縄国際大学の照屋寛之教授は、香港政府に「逃亡犯条例」改正案を撤回させた民衆の運動にふれ「新基地建設を止めるのは民衆の運動、民衆の力がすべてだ」と強調しました。最後に「県民の力で必ず新基地は造らせない。造れない」と手をつなぎ、「辺野古へ行こう」などの歌を歌い、シュプレヒコールを響かせました。

「技術検討会は建設の追認機関だ」
県民の力で必ず基地建設を止める！



安和の琉球セメント棧橋入口で「違法な赤土を運ぶな！」と抗議する市民ら（9月4日）

カメジロー 第2弾 沖縄市でも上映
9月23日、24日 監督と不屈館館長が舞台挨拶



市民小劇場「あしびなー」で
那覇市・桜坂劇場で好評上映中の「カメジロー 不屈の生涯」を中部・北部の県民のために沖縄市でも上映します。

上映館「あしびなー」（沖縄市民会館隣）
上映日・9月23（休）、24日（火）
上映時間・10時、13時、16時、19時の4回。

※全ての回で佐古忠彦監督と内村千尋不屈館館長が舞台挨拶します。
特別前売券1000円【問い合わせ先】
不屈館 ☎098（943）8374

埋め立て土砂 違法の疑い 「オール沖縄」が国に使用中止要求

防衛局 責任逃れの答弁に終始

沖縄県選出の野党国会議員で構成する「うりずんの会」と「オール沖縄会議」などは9日、沖縄防衛局の田中利則局長に対し、琉球セメント安和鉱山からの岩ズリ（土砂）の搬出は鉱業法に違反していると申し入れを行いました。赤嶺政賢、照屋寛徳、屋良朝博衆院議員や高里鈴代共同代表など「オール沖縄」の代表、本部町島ぐるみ会議、平和市民連絡会などが参加。防衛局は辺野古埋め立て用の土砂を安和鉱山から採掘し、琉球セメントの棧橋と塩川港から運搬船で大浦湾に運んでいます。しかし、安和鉱山の採石場は、沖縄総合事務局が施業案（事業計画書）を認めて初めて採掘が可能となる場所です。2016年に認可された施業案には、「目的とする鉱物」は石灰岩だけで、記載がない岩ズリを出荷することは明確な鉱業法違反となり、罰則規定にも触れます。これに対し同局長は、「防衛局と採石業者は直接の契約関係にはない。石材の販売業者の行為にお答えする立場にない」と責任逃れの回答に終始しました。



安和鉱山での岩ズリ採掘中の現場（上）、うりずんの会（下写真右側）の防衛局交渉。

総合事務局 岩ズリ違法性に答えず

「うりずんの会」などは翌10日、監督官庁である沖縄総合事務局を訪れ施業案の確認と岩ズリの販売を中止させるよう求めました。吉住啓作同局長は岩ズリの記載の有無について「公にすることにより当該法人の権利、競争上の地位、その他正当な権利を害する恐れがある」と繰り返し、言及を避けました。「うりずんの会」は「認可されてない赤土が混ざった土砂を販売している疑いがある」と鉱業法違反の有無を確認するように求めました。

